

豊橋市新型インフルエンザ等対策行動計画(案)における意見募集結果

令和7年12月15日から令和8年1月16日までの間、豊橋市新型インフルエンザ等対策行動計画（案）について意見募集を行いました。
提出された意見およびそれに対する市の考え方は以下のとおりです。

番号	部・章	意見の概要	意見に対する豊橋市の見解
1	第3部 第12章 「物資」 第13章 「市民生活」	・本計画により、市民が取るべき行動や行政の対応方針が明確になり、大変有意義であると感じている。 ・感染症の拡大時には、医療機関だけでなく、食品製造業や飲食サービス業など、市民生活を支える多様な業種においても、従業員の減少や業務上の制約が生じることが想定される。これらの業種は社会的に不可欠な役割を担っているが、医療分野と比べると、市民から十分な理解が得られにくい場合があることを懸念している。そのため、食品関連事業者が事業継続計画(BCP)に基づき、限られた人員や資源の中で製品やサービスの優先順位付けを行い、効率的に供給を継続せざるを得ない状況が発生する可能性がある。このような判断は、社会全体の安定供給を目的とした責務として必要なものですが、一般市民にはその背景が十分に伝わらず、過度な要望や誤解が生じる恐れがある。	・計画内の事業者とは、電気・ガス等のライフラインに必要な不可欠な事業所も含み、飲食業も含むと考えております。 ・さらに、第13章対応期1概要に、以下下線部の文章を追加します。 「また、まん延の防止に関する措置等により生じた影響を緩和するため、必要な支援及び情報提供などの対策を行う。」
2	第3部 第7章 「ワクチン」	・「特定企業の製品を自治体が単独で採用する」ことを求めるものではなく、国の承認・供給・制度設計に従うことが前提。そのうえで、将来の感染症危機に備え、従来型の「インフル単独ワクチン」だけでなく、mRNAベースの“インフル＋COVID”組み合わせ(コンボ)ワクチン(例:Pfizer/BioNTechの開発プログラム等)を、市内の病院・診療所で速やかに実施できるようにする方針を、本章にもう一段具体的に明記してほしい。	参考意見として受け止めさせていただきます。
3		・豊橋市が独自に制度運用を先行させることを求めるものではなく、市が国に頼らずに独自で、感染症危機発生時に迅速に接種体制を構築できるよう、計画上の準備と国への要望を明確にしてほしい。 ・新型インフルエンザ等の発生・まん延時において、医療機関の負担を和らげ、住民への迅速なワクチン接種を可能とするため、国に対し、次の点を要望してほしい。 ・研修を受けた歯科医師が、毎年のインフルエンザ流行時にインフルエンザ(新型インフルエンザ等を含む)のワクチン接種に協力できる仕組みについて、国として平時から制度面・運用面の整理を行うこと。また、国の制度化を前提とした上で、豊橋市の行動計画(第7章)にも、歯科医師会と連携した接種協力の可能性について、具体的に位置づけてほしい。	参考意見として受け止めさせていただきます。
4		・国が推進するマイナンバー制度およびマイナポータルを活用した予防接種事務の体制整備を計画上に明確に位置付け、段階的に推進してほしい。 (1)行動計画(案)への位置付けの明確化 予防接種事務のデジタル化および自治体システム標準化の動向を踏まえ、予防接種関係システムの整備・改修を計画的に進めるとともに、市が実施主体となる予防接種について、住民がマイナポータル等を通じて接種記録を確認できる環境整備を関係機関と連携して推進する。 (2)インフルエンザ等予防接種記録のマイナポータル対応 高齢者インフルエンザ等を含む予防接種について、接種記録がマイナポータルで確認可能となるよう、市としてシステム対応・運用整備を進め、住民の利便性向上に加え、流行時・災害時等における迅速な接種状況把握が可能となる。 (3)任意接種(自治体助成なし)を記録対象に含める制度拡充要望 自治体助成のない任意接種(自費接種)についても、本人同意を前提としてマイナンバーによる接種記録の対象に含めるよう、制度設計および運用の拡充を求めることを提案。	参考意見として受け止めさせていただきます。
5	第3部 第2章 「情報収集・分析」	・国や県等の様々な情報を収集する事は勿論大切だが、そもそもウィルスは変異し易いもので、豊橋市で流行しているウィルスが、国内外の機関が発表している通りのウィルスの性質とは限らない為、市独自でウィルスの特性を分析する事も大切だと思う。 ・何をもって偽・誤情報とするかだが、新型コロナワクチン接種後、国の予防接種健康被害救済制度の死亡認定数は、かつてないと言ってよい程の数字となっている。 国は、安全性を強調しワクチン接種を推奨して来たが、新型コロナウィルスワクチン(mRNAワクチン)は、本当に安全性が高かったのか？ ウィルスが変異したからには理由にならない。そもそもウィルスは変異し易いもので、これはウィルス学の基本であり、想定外は通用しないと思う。	参考意見として受け止めさせていただきます。
6	第3部 第4章 「情報提供・共有、 リスクコミュニケーション」	・ウィルスの感染率及びを判断する指標の一つとして、市独自で、検査数に対し感染者数の割合を発表して欲しい。また、病原性の高さを知る上で、感染からの重篤者及び、死亡者の割合(パーセンテージ)も知りたい。 ・人類は長い間ウィルスと共存して来た。”感染”を悪とするのでは無く、感染しても重症化しない体作りを平時より啓発してほしい。恐怖に怯えるのでは無く、冷静になる事が大切だと思う。	適切な情報提供・共有に努めてまいります。
7		・ウィルス感染予防効果として、不織布マスクなど推奨していたのは、理屈として合わないと思う。咳などの飛沫などを飛ばさない為に着用するのは、理に適っているが、ウィルス感染予防を目的とするのは、おかしいと思う。政府、マスコミの発表を参考にする事はとても大切だが、市独自として調査、研究してほしい。	適切な情報提供・共有に努めてまいります。
8		コロナ禍真つ只中で、大きく報道されなかった事故がいくつかある。 【黙食中、小学生の男児が給食中にパンをのどに詰まらせ死亡】 【小学校で持久走後に小5死亡 倒れた際マスクはあごに】 【コロナ感染、自宅療養中の女性が自殺「周囲に迷惑かけた」】 【「職場でコロナうつしたかも」療養中の女性が自殺 思い悩むメモ残し】 報道も平等では無いので、大手メディアの報道に主軸を置くだけで無く、市独自として、情報収集してほしい。 ”感染が悪”では無く、平時からウィルスに関する知識を市民に周知してほしい。	適切な情報提供・共有に努めてまいります。